

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年11月17日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

表題	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000075"/> 整理番号 <input type="text" value="11443"/> 担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>			
技術分野	<input type="text" value="河川、用水路、潮流や海流の流水を利用する新規発電システム"/>			
適用製品	<input type="text" value="機械・加工"/> <input type="text" value="電気・電子"/>			
目的	<input type="text" value="流水発電システム"/>			
技術概要	<p>河川、用水路、海流や潮流などの流水速度は毎秒2m以下である場合が多く、このような低速の流水を用いて大きな電力を得るためには、流水を受ける羽根の面積をできるだけ大きくする必要があります。そこで、水面から水深方向に設置した多数の翼を流水に対して直角方向に往復直線運動させて発電する新たな流水発電システムを開発する。</p> <p>水深方向に設置した翼の回転軸を翼弦の中心からやや後方にして、翼弦の中心から翼前縁までの面積を翼弦の中心から翼後縁までの面積よりも大きくすれば、前者の受ける流水力が常に大きくなり、一定のピッチ角で翼を流水に対して直角方向に動かすことができる。往復直線運動の端で翼の前縁の移動を停止させれば、翼のピッチ角が反転し、翼は再び反対方向に移動する。この往復直線運動をクランク機構で回転運動に変換して発電機を駆動する力とする。複数の翼のピッチ角を同一にできるので大きな電力が得られる。潮流や海流の流水を利用する場合には、翼を水深方向に長くできるのでさらに大きな電力が得られる。往復直線運動の両端では発電機を駆動するトルクが発生しないため、適度な重量のフライホイールを用いて電力の平滑化を図る。</p>			

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp